

指標の見方 ↑:高い方がよい ↓:低い方がよい

項目	業務指標 (PI) の定義	単位	内容・目的	指標
経常収支比率	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$	%	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標	↑
事業収益対資金比率	$\text{現金預金残高} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益} + \text{他会計補助金})$	%	事業収益に対する現金預金残高の割合を示すもので、水道事業の資金面の余裕を表す指標	↑
料金回収率	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$	%	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標	↑
給水原価	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不要品売却原価} + \text{附帯事業費} + \text{長期前受金戻入})] / \text{年間有収水量}$	円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの経常費用（受託工事費等を除く）の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す指標	↓
供給単価	$\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$	円/m ³	有収水量1m ³ 当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表す指標	↓
企業債残高対給水収益比率	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$	%	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標	↓
施設利用率	$(\text{一日平均配水量} / \text{施設能力}) \times 100$	%	施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標	↑
有収率	$(\text{年間有収水量} / \text{年間配水量}) \times 100$	%	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標	↑
有形固定資産減価償却率	$(\text{減価償却累計額} / \text{償却資産}) \times 100$	%	償却資産に対する減価償却累計額の割合を示すもので、所有している資産の経年度合いを表す指標	↓
法定耐用年数超過浄水施設率	$(\text{法定耐用年数を超えている浄水施設能力}) \times 100$	%	全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示すものであり、施設の老朽度及び更新の取組み状況を表す指標	↓
法定耐用年数超過管路率	$(\text{法定耐用年数を超えている管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	%	管路の延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示すものであり、管路の老朽化度、更新の取組み状況を表す指標	↓
管路の更新率	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	%	管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標	↑
職員一人当たり有収水量	$\text{年間総有収水量} / \text{損益勘定所属職員数}$	m ³ /人	1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率性を表す指標	↑
水道業務平均経験年数	$\text{職員の水道業務経験年数} / \text{全職員数}$	人/年	全職員の水道業務平均経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表す指標	↑

指標の見方 ↑:高い方がよい ↓:低い方がよい

項目	業務指標 (PI)の定義	単位	内容・目的	指標
平均残留塩素濃度	残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数	mg/L	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す指標	↓
水質基準不適合率	水質基準の不適合回数/水質検査回数	%	水質基準を満たした水道水を給水できているかを表すもので、基本的に0%となる指標のため湖西市の偏差値は50とした	↓
鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%	給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標	↓
直結給水率	(3階以上の直結給水件数/給水件数)×100	%	給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業体としての取組み度合いを表す指標	↑
水源の水質事故件数	年間水源水質事故件数	件	1年間における水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表す指標	↓
自己保有水源率	(自己保有水源水量/全水源水量)×100	%	水道事業体が保有する全ての水源量に対する、その水道事業体が単独で管理し、水道事業体の意思で自由に取水できる水源量の割合を示すもので、水源運用の自由度を表す指標	↑
給水制限日数	年間給水制限日数	日	1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表す指標	↓
浄水施設の耐震化率	(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	%	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標	↑
ポンプ所の耐震化率	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力)×100	%	全ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表す指標	↑
配水池の耐震化率	(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100	%	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標	↑
管路の耐震化率	(耐震管延長/管路延長)×100	%	導・送・配水管（配水支管を含む）全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標	↑
基幹管路の耐震化率	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100	%	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標	↑
人事交流実施回数	他事業体との人事交流の実施回数	回	他事業体との人事交流の回数を示すものであり、職員技術力向上への取組み度合いを表す指標	↑
配水量1m ³ 当たり電力費	電力費の合計/年間配水量	円/m ³	配水量1m ³ 当たりの電力費を示すものであり、経営効率化への取組み度合いを表す指標	↑